



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三四二号〕

啓蟄<sup>けいちつ</sup>

三月五日

## 松尾の初午さん

三月の声を聞くと、伊勢周辺では「初午さん<sup>はつうま</sup>」のお参りがあります。

厄除けのお参り「初午さん」は、全国に様々な言い伝えが残ります。この地域では二月立春を過ぎた三月最初の午の日に、稻荷神社ではなく、観音さんのお寺にお参りします。今年は三月十日(宵祭)、十一日(本祭)です。

伊勢では楠部町の松尾観音寺に多くの方がお参りします。このお寺は龍池山の山号があるように、ニッ池に棲むという竜神伝説のある地に創建された古刹<sup>こさつ</sup>。かつて火災から逃れた観音さんの災難除けにあやかろうと、厄年だけでなく、毎年一年の厄災を払う日として大勢のお参りがあります。お参りの後、身につけたものを一つ落として、厄を落とす風習も残ります(今年は中止)。

この松尾観音寺が、かつての伊勢街道の古市から分かれた道でつながっていることを知りました。確かめてみようとお寺から西へ向かうと、皇學館中学、高校の脇を通り抜け、御幸道路の倭姫宮前<sup>やまひめのみや</sup>に出ます。そこから坂道を上り、しばらく進むと古市郵便局に着きました。車なら数分です。これほど近いところに伊勢街道があったのです。驚きました。

そして、お寺から北へ道なりに向かうと、今度は神久に出て、二見へ続く二見道とつながっていたのです。御幸道路や国道二十三号線などの主要道路が出来て、かつての道は知る人ぞ知る道となりましたが、なかなか使い勝手のよいルートとなっています。

初午さんで厄を払うと、本格的な春が到来。コロナ退散を祈るお参りになりそうです。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『五十鈴川桜まつり』

新緑の朝熊山を背景に対岸の桜を眺めながら、お花見料理で華やかに、夜桜のライトアップでしっとりとお花見していただきます。

五十鈴川の桜と一緒に、うらかな春のひとつときをお過ごし下さい。

と き／3月27日(土)～4月4日(日) 10:00～

ところ／五十鈴川河川敷周辺

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。

### ● 花見屋台

田楽や団子、甘酒などの屋台が並びます。赤毛せんの敷かれた縁台に腰をおろし、のんびりとお過ごし下さい。

と き／3月27日(土)～4月4日(日) 10:00～17:00

ところ／五十鈴川河川敷周辺

### ● 夜桜のライトアップ

日没より、五十鈴川新橋周辺の夜桜をライトアップします。風のない日は、五十鈴川の水面に映る美しい桜もお楽しみください。

と き／3月27日(土)～4月4日(日) 日没～21:00

※雨天時は中止させていただく場合もあります。予めお問い合わせの上、お越しください。

### ● 春の奉納芸能

五穀豊穡を祈り、和太鼓の演奏を披露します。

と き／4月3日(土)・4日(日)

ところ／五十鈴川河川敷特設舞台

出演／志多ら(愛知県)、四日市諏訪太鼓 龍雅(三重県)、磯部楽打ち(三重県)

## 五十鈴塾

### ○『伊勢国司北畠氏の歴史①』

三重県内各地に伝えられる伊勢国司北畠氏関係の古文書を読み解くことで、中世後期の伊勢を生き抜いた北畠氏の歴史を見ていこうという新シリーズです。

第1回は石水博物館所蔵の「北畠顕能御教書」などを読みながら、初代伊勢国司北畠氏は誰かという問題を考えてみましょう。

中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!!

と き／3月15日(月) 13:30～15:00

講師／岡野 友彦(皇學館大学文学部長)

参加費／一般1,350円 会員850円

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○ 節気菓子

はるがすみ

#### 春霞

山々が霞む春の景色はどこか絵画を思わせます。

羊羹と浮島でその一面を形取り、陽炎もかすかに立ち昇る、春霞の景色に似せました。

さわらびじょうよ

#### 早蕨薯蕷

早蕨は、万葉集でも「萌え出づる春になりけるかも」と季節の便りにも読まれています。よもぎ入りの薯蕷生地でこしあんを包み、春の色そのままに淡い緑で染めました。

さほひめ

#### 佐保姫

奈良の都から見て、春を指す東に位置する佐保山にちなんだ菓名です。粒あんを雪平生地と羊羹で包み込み姫君達の衣に見立てました。